

認可保育園および認証保育所の保育における料金格差是正についての陳情  
(福祉健康委員会付託)

受理番号 第35号 受理年月日 平成23年8月8日  
付託年月日 平成23年9月27日  
陳情者 . . . . .

陳情原文 本区は認可保育園(以下、認可園)の待機児童を解消する為に、認可園の定員を増やさず、独自の保育ママ制度で対応していますが、その待機児童解消の一翼を担っている認証保育所(以下、認証園)に対し、独自の支援を行っていません。また、一度認可園に入園できると、条件を満たす限り小学校入学まで預ける事ができ、また、妹弟も優先的に入園できる為、複数年に渡り公的サービスが幸運な世帯に提供されるという不均衡をもたらします。

さらに、認証園では保育料格差の為、認可園へ転園する家庭が多く、長期的な人間関係を築けないので、子供達の情緒の安定に影響を与えないか心配です。

本区では低年齢児に対して、家庭的な保育環境が大切であると考え、40年以上も前から充実した保育ママ制度を持っています。ただ、自宅で虐待が行われていても、自宅であるが故に児童相談所が介入できないという問題が叫ばれているのが今の社会です。その状況で、個人契約の為、実態が掴みにくい保育ママでなく、少人数で保育士の目が届きやすい認証園を認可園の代わりとして選ぶ親に対して、行政の価値観で補助しないのは公平ではないと思います。

私は江戸川区の子育て支援が充実しているという評判を聞き、子が生まれるのを機に本区へ越してまいりました。しかし、同じように本区に転入してくる家族も多く、同じような悩みを抱えているようです。子が0歳の時、保育ママについて、区に問い合わせましたが、「駅近くの保育ママは人気で、評判の良い人に預けるのは難しい」との話で、どの辺りに預ける事ができるのかもわからなかった為、認証園を利用する事にしました。

現在、本区では財政健全化に向け認可園にも民活を取り入れて効率良く公的サービスを提供する方向に動いていますが、認可園と認証園の補助金格差を是正しない事には民活もうまく機能しないと思います。入園補助金8万円、月額2万6千円を上限とした補助は私立幼稚園に対し、本区が助成しているものを参考にしました。

このような助成を認証園にも適用して頂ければ、認可園との格差が縮まるだけでなく、認可園が保育料の下限となり保育の質も確保できると思います。

さらに、長く在籍した園児の割合に応じて、保育ママの援助費と同じ満額40万円の援助費を認証園に支給する事で保育ママと保育園が本区の誇る保育の両輪となるのではないかと思います。

つきましては、認可園と認証園の保育料格差による継続的な保育環境の阻害につ  
(裏面に続く)

いて対処して頂きたく、下記のとおり陳情いたします。

記

- 1 認証園に子供を預ける保護者に対して月額2万6千円、入園補助金8万円を限度に助成して欲しい。
- 2 卒園児の中で3年以上在籍した園児の割合に応じて、認証園に上限40万円の援助金を支給して欲しい。